

い。

## (2) 相談や互いに世話をする友人がいないと回答する割合は、日本が最も多い

家族以外の人で相談し合ったり、世話をし合ったりする親しい友人がいるか尋ねたところ、「いずれもない」と回答した高齢者の割合は、調査対象国のなかで日本が25.9%と最も多く、次いでドイツ17.1%、アメリカ11.9%、スウェーデン8.9%と続いている（図1-3-6）。

日本では高齢化が進み高齢者のいる世帯構成は単独世帯が増加傾向にあり、平成26（2014）年では約25%を占めている。こうした状況のなか、近所の人との付き合いについて、相談する・される、病気の時に助け合うと回答する割

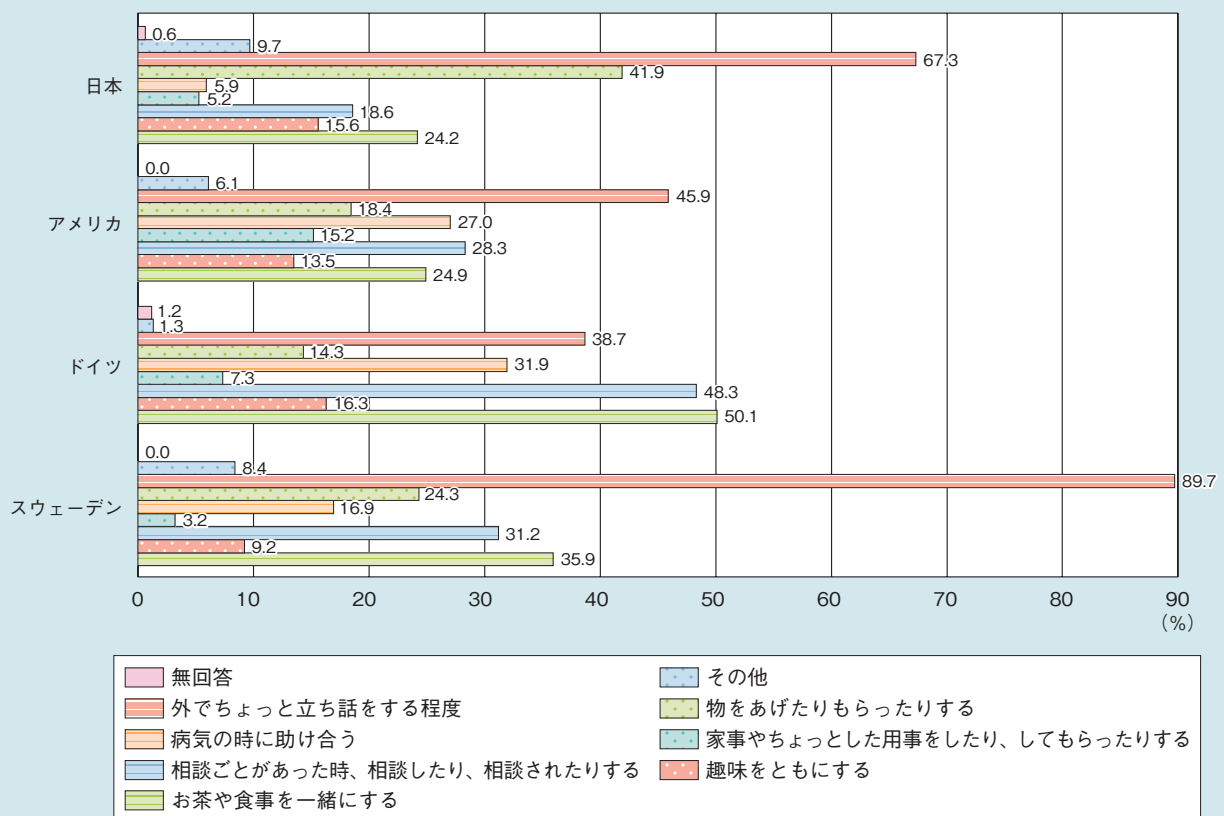
合が、調査対象国のなかで低い水準となっており、さらには家族以外の人で、相談や互いに世話をし合ったりする友人がいない割合は高い水準となっている。高齢者が地域社会から孤立しないよう、社会活動の参加を促す取組や支援が今後より求められる。

## 4 老後生活の満足度について

### (1) 日本の高齢者の77.5%は経済的に困っていない。

経済的な意味で、日々の暮らしに困ることがあるか尋ねたところ、経済的に困っていない高齢者の割合（「困っていない」と「あまり困っていない」の計）は、スウェーデンが87.3%で最も多く、日本77.5%、ドイツ77.0%、アメリ

図1-3-5 近所の人との付き合い方（複数回答）



資料：内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」（平成27年）  
（注）対象は60歳以上の男女（施設入所者は除く）

カ 68.3%と続いている（図1-3-7）。

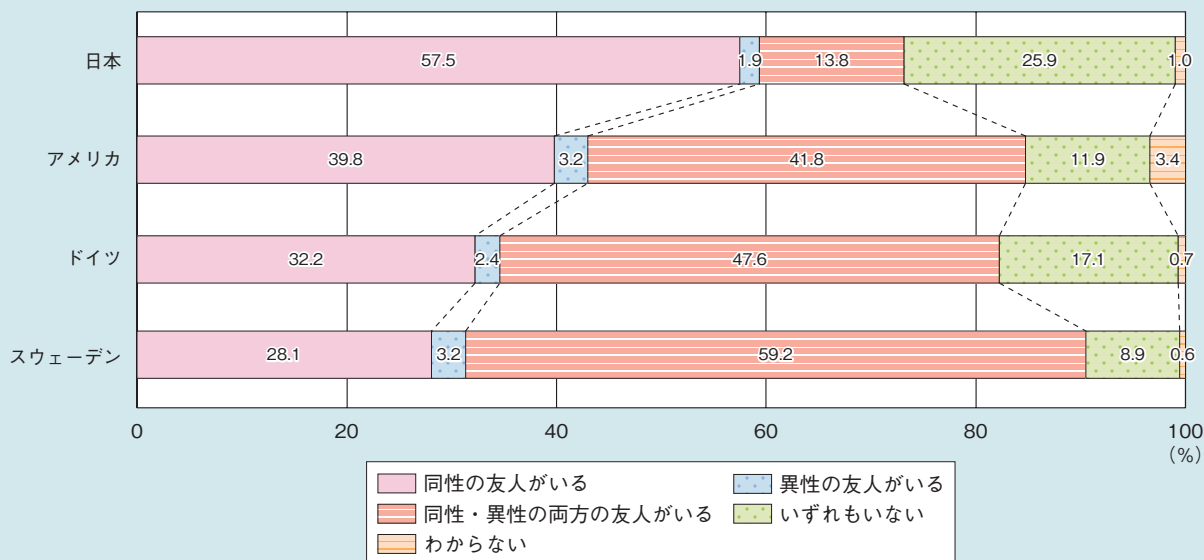
## (2) 調査対象国すべての高齢者の約9割が老後生活に満足している。

総合的にみて、現在の生活に満足しているか尋ねたところ、現在の生活に満足している高齢者の割合（「満足している」と「まあ満足して

いる」の計）と回答する割合は、スウェーデン 97.1%、アメリカ 95.2%、ドイツ 91.9%、日本 88.3%となっている。

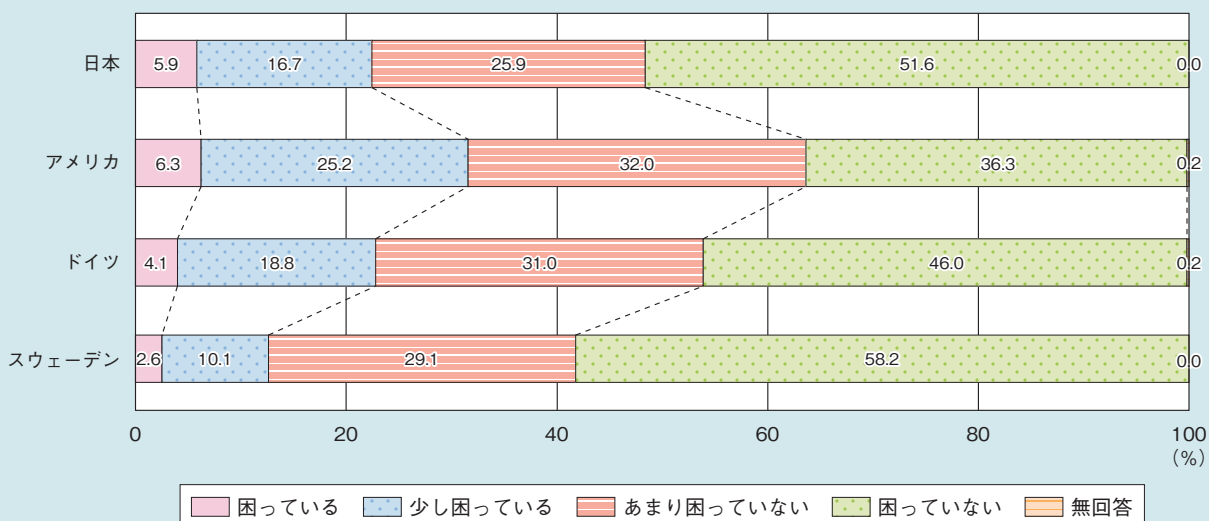
本調査では、日本の高齢者の約8割が経済的に困っておらず、約9割が現在の生活に満足していると回答している。

図1-3-6 親しい友人の有無



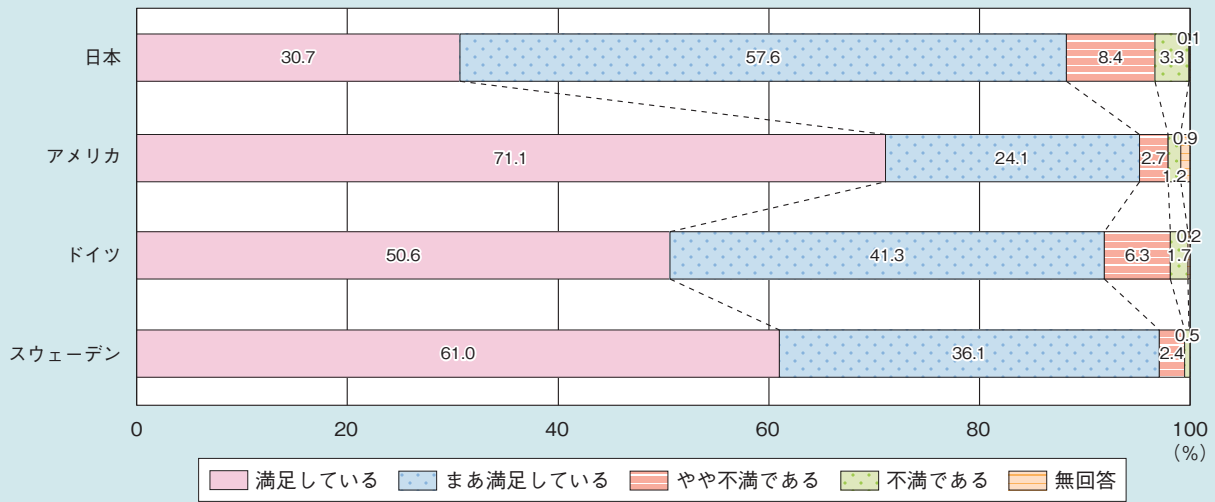
資料：内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」（平成27年）  
 （注）対象は60歳以上の男女（施設入所者は除く）

図1-3-7 日々の暮らしで経済的に困ることの有無



資料：内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」（平成27年）  
 （注）対象は60歳以上の男女（施設入所者は除く）

図1-3-8 現在の生活への満足度



資料：内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」(平成27年)  
 (注) 対象は60歳以上の男女(施設入所者は除く)

本調査では、日本の高齢者の約8割が経済的に困っておらず、約9割が現在の生活に満足していると回答している。

一方で、日本は老後の備えとして現在の資産や貯蓄を不安と考える割合や家族以外の人で相談し合ったり、世話をし合ったりする親しい友

人がいない割合が、他の国よりも多いという結果も出ている。こうした点に加え、状況の変化により生活の満足度が低下する可能性も勘案して、高齢期の生活を支える取組を進めていく必要がある。